

平成25年度ホタテガイ採苗情報（第9報）

平成25年6月18日

発行：岩手県水産技術センター
協力機関：沿海振興局水産部・水産振興センター
関係漁業協同組合



県中北部から県中南部で付着稚貝数が増加

< 調査結果の概要 >

- 唐丹湾の水深10m層の水温は11.7℃と平年並み。水深10～20mで11℃台、30m以深で10℃台となっています。透明度は10m（前回10m）でした。
- 唐丹湾のラーバ出現数は、200μm以上の大型個体は1個/m³と前回（10個/m³）より減少しています。
- 唐丹湾の試験採苗器の付着稚貝数は1,154個/袋（前回381個/袋）と再び増加し、そのうち付着直後の個体は2割弱でした。その外地区の付着稚貝数は、県中北部で114～150個/m³（前回35～99個/袋）、県南部で1,651個/m³（前回1,771個/袋）でした。県中北部以南で前回と同等または増加で推移しています。
- 唐丹湾のムラサキイガイのラーバ出現数は146個/m³（前回189個/m³）と減少しましたが、付着稚貝数は239個/袋（前回132個/袋）と増加しました。
- ホタテガイのラーバ出現数は減少しており、稚貝の付着は終盤近くと思われませんが付着は継続中です。すでに県内の採苗器投入は概ね終了となっています。残りの採苗器がある場合は早めに投入を終了してください。

< 気仙沼周辺海域の状況（6月12日発行気仙沼水試ホタテガイ採苗通報） >

- 稚貝の付着は継続も付着稚貝数は減少傾向。

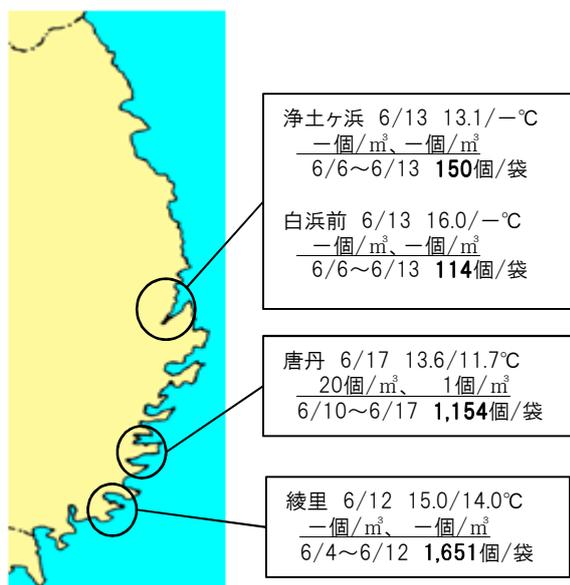


図1 各定点の調査結果

調査点 調査日 0m/10m層水温
ラーバ出現数(200μ未満、200μ以上)
試験採苗器垂下期間 付着稚貝数

※ 唐丹湾を除き今期のラーバ調査、付着調査は終了となります。

次報は、6月25日に発行する予定です。

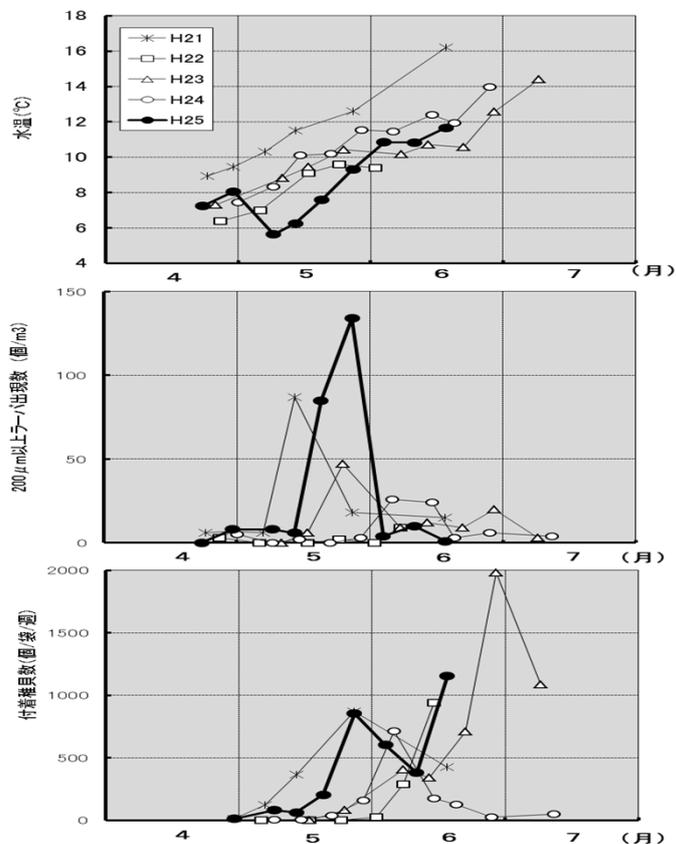


図2 唐丹湾の水深10m層水温とラーバ・付着稚貝の出現状況